



今月の主な話題

- 2 第39回菊陽町夏まつり 心躍る夏
- 4 10月1日から水痘と成人用肺炎球菌の定期予防接種が始まりますすいとう
- 6 ごみ出しのルールを守りましょう
- 7 「町総合計画に関する住民懇談会」を開催しました
- 8 皆さんの知識と経験を町の政策に生かしませんか



お花畑と私



作者

きむら あいり
木村 曖里ちゃん
(光3町内)
平成20年9月12日生まれ

表紙の写真



菊陽町夏まつりのステージで華やかな衣装に身を包み、優雅にフラを踊る子どもたち。毎週金曜日に西部町民センターで練習をしている「フラナニホーク」の皆さんです。「楽しかった。また出たい」と満面の笑みでした(関連2ページ)。

編集後記

9月号は菊陽町夏まつり取材しました。見どころいっぱい会場取材するため、今回は役場職員でカメラ愛好者の数人に協力してもらいました。4人組ボーカルグループDEEPのステージが始まるころには雨も上がり、会場もヒートアップ!皆さんの熱気と家族や友達と過ごす様子を見てこちらも元気になりました。重たいカメラを持って動きっぱなしなのでどっと疲れが出ましたが、DEEPの歌声や花火に癒され、帰路は爽快感で満たされました。皆さん、いつも取材へのご協力本当にありがとうございます。(上野)

こうのとりの保育園

ぼくのわたしの誕生日 9月



なす し
那須 つく詩ちゃん
(光7町内)
平成20年9月3日生まれ

文字に興味があり、自分の名前を漢字で書けるようになりました。最近はお友達へ手紙を書く事が楽しみの一つです。



いのうえ あきよ
井上 慧陽ちゃん
(沖野)
平成20年9月6日生まれ

運動が好きで逆上がりができるようになりました。次は連続逆上がりができるように毎日一生懸命取り組んでいます。

Happy Birthday!



▲真剣な表情で紙粘土の獅子頭を作る子どもたち

南校区世代間交流事業が8月7日、南部町民センターで行われました。この事業は生まれ育った地域の歴史や文化を学び、人々に感謝する心を育むことを目的に、平成21年から行われています。菊陽南小学校の児童や南校区老人会、校区青少協など約60人が参加。参加者は紙粘土の獅子頭を作ったり、おじゃめ(熊本弁)で手玉のこことやおはじき、自分で絵を描いたぶんぶんこま、竹とんぼで楽しく交流しました。センター内にはあちらこちらで児童に優しく教える姿が見られ、児童や参加者の笑い声が響いていました。

まちのわだい

伝承遊びと地域の文化

南校区世代間交流事業

人のうごき

平成26年7月末現在
()内は前月比

人口	39,541 (+10)
男	19,349 (+ 2)
女	20,192 (+ 8)
世帯数	15,547 (± 0)

●出生/ 61 ●死亡/ 14
●転入/160 ●転出/197